

MIRAI



2015年10月版

広島大学 女性研究活動推進本部
問い合わせ先
住所:〒739-8524 広島県東広島市鏡山一丁目1番2号
電話:082-424-4399 FAX:082-424-4355
HP:<http://home.hiroshima-u.ac.jp/womenes/>
E-mail:womenes@hiroshima-u.ac.jp

2015年10月発行

迷わずに進め! 女性研究者の道。

ライフイベントに関するよくある疑問にお答えします。

結婚と研究、両立できる?

結婚はパートナーとの二人三脚で、結婚生活と研究を両立させていくには、パートナーとの協力が欠かせません。そもそも家事も育児も、パートナーと分担しながら共に行うべき仕事です。時には、両親や友人といった周りの方にも協力してもらいましょう。きっと両立できます!



大学院生で出産ってあり?

女性研究者が大学院生時に出産するケースは珍しくありません。昨今は男女共同参画社会の意識も浸透し始めていて、女性研究者が研究を続けやすい環境が整いつつあります。例えば研究奨励金が支給される日本学術振興会の「特別研究員^{*1}」の制度においても、出産・育児に配慮したRPD制度^{*2}が用意されています。研究と出産の両方を選ぶことは十分に可能です。

*1 トップクラスの優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る日本学術振興会の制度。

*2 特別研究員制度の一環として、子育て支援や学術研究分野における男女共同参画の観点から、優れた若手研究者が、出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰できるように支援する制度。

家事や子育てをしながら、研究時間を確保できるの?

パートナーと手分けするにしても、保育園の送り迎えに、食事、洗濯、掃除……。一方では論文の読み込みに、学会発表の準備と、子育てをしながら、研究を続けるのは大変です。でも、女性研究者の中には、「気持ちの切り替えができる、かえってよかった」という人もいます。母として研究者として、いろいろなことに夢中になると、あなた自身が輝きます。簡単ではありませんが、ぜひ挑戦してください。



ドクターの先輩は？

うまく行かない時こそ、深呼吸して自分を見つめ直す

進学を決めた理由は？

宇宙や深海と同じように、未知の部分を多く抱える生体内。私が扱うタンパク質もそうした生物を構成する生体高分子の一つで、学べば学ぶほど興味が膨らむテーマです。ドクター進学を決めたのは、そんな研究の面白さに魅力を感じたのはもちろんですが、次第に「自分で研究計画を立ててみたい」という思いが膨らんできたからです。マスターまではある程度用意された研究テーマを遂行しますが、自分なりのアプローチを試すとなると、やはりドクターへ行くしかありません。家族は反対こそしませんでしたが、心配はされましたね。特に母親は経済的なことや結婚のことなどが心配だったようです。

ドクターの1日を教えて！

私が所属する研究グループにはコアタイムがないので、朝起きて、お弁当を持って研究室に行き、午前中はデスクワーク、午後は実験といった流れで生活しています。平日は大体9時から20時までを研究室で過ごしています。デスクワークは家でもできるようにするなど、環境を整え、自分のペースで研究を進めています。女性の場合、実験などで成果が出ないと、「向いてないのかも……」と必要以上に落ち込む人が多いと感じますが、そんなことはありません。一度深呼吸して、自分が何をすべきかを考え、これまで自分を支えてくれた人たちのことを思い浮かべてみてください。必ず壁は乗り越えられます！

ドクターの先輩は？

修了＝就職ではなく、研究も一つの選択肢に。

なぜドクターに進んだの？

「高温化緩和を目的とした都市づくり」を研究テーマとし、そのために必要な都市環境気候図（クリマアトラス）を作成しています。これほど「環境」という言葉があふれているのに、これまで「都市づくり」と「環境」は、それぞれ別個に研究されていました。私の研究はその2つをつなぐものであり、そこにやりがいを感じて、ぜひドクターに進んで研究を深めたいと思いました。もちろん進学するにあたって、いろいろ迷いはあったのですが、そんな私に対して両親は「本当にやりたいことは何だ！」と喝を入れてくれました。そこからあれこれ不安に思うことをやめ、覚悟を決めて進学しました。

ドクターは大変？

日々大変なこともありますが、自分の好きなことができる充実しています。しかし研究者として自立が求められるので、論文を書く際は悩んでばかりです。周りに相談はできますが、自分の色を出すという点で、最後は自分で答えを出していかなければなりません。産みの苦しみが大きいですね。しかし、研究面以外のこと、そんなに大変だった経験はないです。もちろん女性だから困ったということもないです。そもそも工学は女性が少ないので、学会などで覚えてもらいやすいです。身近にいる先輩女性研究者を見ていると、家庭を持った場合、完璧主義になりすぎないという意味で、学業との両立にそれなりの努力と割り切りがければ大丈夫だと感じています。

博士課程前期 マスター：博士課程後期

宮下由里奈さん
広島大学 大学院理学研究科
数理分子生命理学専攻D2

修了後はどんな仕事を？

結果が求められる研究者の道。 プレッシャーも成長の糧に！

就職のきっかけは？

現在、私は環境分析および分析装置メーカーの株式会社ラボテックで働いています。学生の頃から環境について研究してきた私にとって、この会社はこれまでの研究スキルが生かせる理想的な職場。環境分析の業界は募集が少ないといわれますが、そんな中、就職できたのは、ドクターの頃に参加したインターンシップ*のおかげです。ドクター進学の際はいろいろ不安もありましたが、今はドクター人材に対する企業側の理解も深まり、そうした企業と出会うマッチング制度も豊富に用意されています。同年代の女性が選んだ選択肢と比較して、心が揺らぐこともあって自分は自分。好きなことを諦める必要はないと思います。

これまでの人生で最大の壁は？

やはり、ドクターに進んでから博士号を取るまでの過程が、最も“人生の壁”を感じた時期ですね。第三者から見ると、自由にやりたいように研究しているように見えても、ドクターの学生たちは大変緻密な研究計画のもと、時間に追われながら自身のテーマに取り組んでいます。研究の内容においても、マスターに比べて要求されるレベルがぐんとアップするので、常に「結果を出さなければ」というプレッシャーを背負っています。でも、それを乗り越えてこそ、一人前の研究者として認められるのだと思います。忙しさやプレッシャーとうまく付き合っていくことも、研究者になるための大切なレッスンなのでしょうね。

なぜ研究者の道へ？

山口大学に来る前、私は理化学研究所の「SPRING-8」で研究をしていました。マスターの頃に同研究所の研修生となり、発光分光器の性能を上げる研究をしていたのですが、その分光器がマスター修了時にやっと立ち上がり、使わずに就職するのはもったいないと考え、ドクター進学を決めたんです。結局、それが研究者の道に進む分岐点となりました。研究者になることを迷っている後輩がいるなら、好きなことを簡単に諦めないとアドバイスしたいです。体力に多少違いはあっても、能力に男女差はありません。自分の意志を抑えず、やりたいことと真摯に向き合ってください。

研究と家庭の両立は大変？

同じ大学で学んだパートナーとは、大学院から別々。共に暮らしたのは育休中の1年間のみで、理化学研究所時代も娘と2人暮らしていました。泊まりの研究や娘が熱を出した時などは、ママ友やパートナーの母に助けを求めました。復帰直後に乳腺炎になり、40度の高熱を出した時は、職場の先輩の奥さまに病院まで連れてもらったりもあります。お世話になった皆さんには本当に感謝しています。研究者の場合、一般的な結婚生活とは違うこともありますが、その時々の環境変化を淡々と受け入れると、案外なんとかなるものです。大変だけど、好きな道を歩んでいるという喜びの方が大きいですね。

HP : <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku>

万代小百合さん
ラボテック株式会社 分析部
広島大学 大学院生物圏科学研究科修了博士（学術）

研究者のライフイベントは？

大変よりも、好きな道を歩む 喜びの方がずっと大きい。

研究と家庭の両立は大変？

同じ大学で学んだパートナーとは、大学院から別々。共に暮らしたのは育休中の1年間のみで、理化学研究所時代も娘と2人暮らしていました。泊まりの研究や娘が熱を出した時などは、ママ友やパートナーの母に助けを求めました。復帰直後に乳腺炎になり、40度の高熱を出した時は、職場の先輩の奥さまに病院まで連れてもらったりもあります。お世話になった皆さんには本当に感謝しています。研究者の場合、一般的な結婚生活とは違うこともありますが、その時々の環境変化を淡々と受け入れると、案外なんとかなるものです。大変だけど、好きな道を歩んでいるという喜びの方が大きいですね。

堀川裕加助教
山口大学 大学院理工学研究科
自然科学基盤系学域（物理学分野）
物理・情報科学科


